

おう吐物の処理方法と消毒液の作り方

はじめに

ノロウイルスに感染した人がおう吐した場合、おう吐物が乾燥した後、ほこり等にくっつき空気中に舞い上がることがあります。それらを吸い込むことにより、ノロウイルスに感染する場合もあるため、おう吐物は正しい方法で処理する必要があります。

準備するもの

- 1 手袋、エプロン、マスク
(使い捨てのもの)
- 2 ペーパータオル
- 3 ビニール袋 (2 枚以上)
- 4 消毒液
【薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)】
※家庭用の塩素系漂白剤(約 5%)を、
使用直前に薄めて作ります。

消毒液の作り方

薄めた次亜塩素酸ナトリウム液(0.1%)を作る場合、1リットルのペットボトルに、漂白剤の容器についているキャップ一杯分(約 20 ミリリットル)の塩素系漂白剤(約 5%)を入れ、ペットボトルを水で満たします。



+



次亜塩素酸ナトリウム液を使用する際の注意！

- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液を薄めるときや、使うときは、窓を開けて換気をしましょう。
- ☆ 薄めた次亜塩素酸ナトリウム液は、時間が経過すると消毒効果がなくなってしまう場合があるので、その都度、作った方が確実です。やむを得ず保管する場合は、誤って飲むことがないように、消毒液であることを明記しましょう。
- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液には、金属の腐食やカーペット等の脱色作用がありますので、使用する場所に注意しましょう。消毒後 10 分程度経過したら水拭きしましょう。
- ☆ 次亜塩素酸ナトリウム液を、酸性洗剤やエタノール等(アルコール類)と混ぜると有毒ガスが発生するため危険です。
- ☆ 皮膚に対する刺激が強いので、薄めた次亜塩素酸ナトリウム液で、手等を消毒してはいけません。
- ☆ その他、塩素系漂白剤の使用にあたっては、商品の「使用上の注意」を確認しましょう。

おう吐物の処理方法

①



窓を開け、換気する。
使い捨ての手袋、エプロン、
マスクを着ける。

②



汚物にペーパータオルをか
ぶせ、薄めた次亜塩素酸ナトリ
ウム液（0.1%）を染み込ませ
る。（5分程度）
かぶせたペーパータオルと一
緒に汚物を取り除く。

③



残った汚物をペーパータオル
で、可能な限りふき取る。
（2m ほど外側から内側へ向
けて、汚れた面を折り込み
ながら静かにふき取る）

④



汚物と使用したペーパータ
オルは、薄めた次亜塩素酸ナトリ
ウム液（0.1%）と共にビニール
袋に入れ消毒する。
（ビニール袋は、二重にする）

⑤



汚物が付着していた床やその
周囲を薄めた次亜塩素酸ナトリ
ウム液（0.1%）を染み込ませた
ペーパータオルで覆い、浸す
ようにふく。

⑥



10 分程度おいて、水ぶきする。

⑦



手袋は付着した汚物が手に
付いたり、飛び散ったりしない
よう裏返ししながら外す。

⑧



使用した手袋等を、ビニール
袋に入れ、しっかりと口を締め
る。

⑨



薬用石けんを使って、しっか
り手を洗い、うがい、洗顔
を行う。

☆おう吐物の中にはノロウイルスがいるものと考え、
正しい方法で処理しましょう。